



日本遺産 国境の島 壱岐・対馬・五島 —古代からの架け橋— 認定10周年記念特別講演 入場無料

「原の辻100年のあゆみ」

日 時:令和7年12月21日(日)

講演 午後2時~

会 場:壱岐市立一支国博物館3階 多目的ホール
(長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1)

定 員:150名 ※事前予約なし 当日受付

講 師:松見 裕二(壱岐市文化スポーツ振興課課長補佐)

講演の聴きどころ

地元の郷土史家だった松本友雄によって発見され、全国に知られた原の辻遺跡。原の辻発見から今日に至るまでの100年の歴史について紹介します。また、昭和49年から始まった本格的な発掘調査からみえてきた最新の原の辻遺跡の様相についてわかりやすく解説します。



パネル展

日本遺産「国境の島」認定10周年を記念したパネル展を開催します。

会期 12月13日(土)から12月24日(水) ※15日、22日休館日

8時45分から午後5時30分

場所 壱岐市立一支国博物館3階多目的交流室前

問合せ先

日本遺産「国境の島」推進協議会事務局
(長崎県文化振興・世界遺産課 歴史文化班内)
〒850-8570 長崎市尾上町3-1
TEL095-895-2762